

学びに "プラス1" ～学習カードで基礎知識の定着を図る①～

今回及び次回の「プラス1」は、小学校4・5・6年生を対象に、学習カードを活用して、日本の地理と歴史に関する基礎知識の定着を図る実践例を紹介します。

授業の中で、数分間を使って、繰り返し行うことで、基礎知識を着実に身に付けさせることができます。

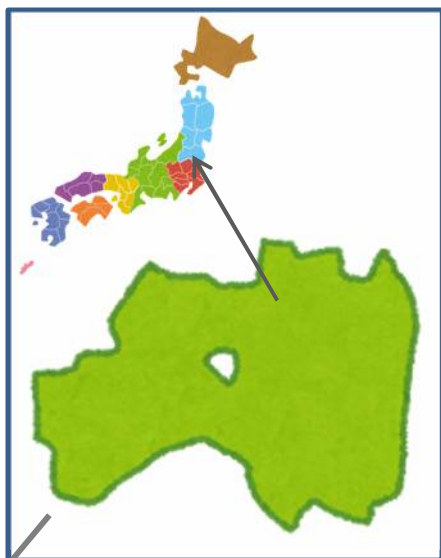
〈「47都道府県学習カード」の作成と活用〉

『小学校学習指導要領解説 社会編』では、「**小学校修了までに、我が国の47都道府県の名称と位置を確実に身に付け、（以下略）。**」と解説しています。

そこで、今回は、**47都道府県の名称と位置を身に付けさせるとともに、各都道府県の特徴等についてもとらえさせる学習カードの作成と活用**について紹介します。

「47都道府県学習カード」の表側と裏側を、下の福島県の例のように47都道府県分（47枚）作成します。カードの大きさは、教室の児童全員に見える大きさにしましょう。教室の広さや児童数、座席の配置等に応じた適切な大きさに作成してください。

〈福島県の例〉【表側】



都道府県境が記されている日本地図及び対象となる都道府県全体の地図を載せて、都道府県の位置を日本地図上に矢印で示します。

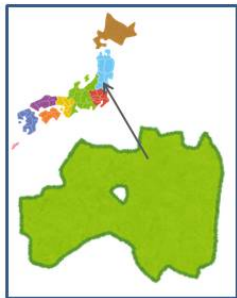
〈福島県の例〉【裏側】

- ・猪苗代湖
 - ・会津ぬり
 - ・土湯こけし
 - ・大堀相馬焼
 - ・相馬野馬追
 - ・野口英世
 - ・も も
 - ・喜多方ラーメン
- など

対象となる都道府県の特徴ある事象（自然、特産品、まつり、歴史、名所、農産物、料理等）をいくつか記載します。

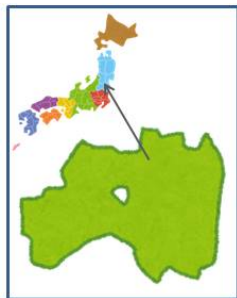
作成した「47 都道府県学習カード」を1枚ずつ子どもたちに提示し、次のように問いかけて、子どもたちに答えさせます。

〈初めに「表側」を提示する場合〉



この「都道県名」は何ですか？

はい、「福島県」です。



そうですね。

**では、「福島県」と聞いて、
思い浮かぶのは何ですか？**

**はい、「もも」、「猪苗代湖」、
そして、「野口英世」です！**



この後、カードの裏側を子どもたちに見せて、その都道府県の特徴ある事象について確認させます。そして、次のカードに移ります。（※以後、これを繰り返す。）

〈初めに「裏側」を提示する場合〉

- ・猪苗代湖
- ・会津ぬり
- ・土湯こけし
- ・大堀相馬焼
- ・相馬野馬追
- ・野口英世
- ・も も
- ・喜多方ラーメン
- など



「猪苗代湖」、「会津ぬり」、
「土湯こけし」…などで有名
な都道府県はどこですか？

分かりました、福島県です！



この後、カードの表側を子どもたちに見せて、その都道府県の位置を確認させます。そして、次のカードに移ります。（※以後、これを繰り返す。）



「47都道府県学習カード」は、単元のまとめや学期末・学年末の時期に、振り返りやまとめとして活用することも有効です。

提示するカードの枚数については、時間に応じて適宜調整して行ってください。

また、「47都道府県学習カード」は、教室等に掲示したり、授業の板書構成として黒板に添付したりするなど、汎用的に活用することができます。